

# らららん15号



2019. 3. 8

## 子どもと外遊びを

めっきり春めいてきました。萩や上関の河津桜が、もう散り始めていると聞きました。

こんな季節は、子どもさんと外遊びをするといいと思います。ボールでサッカーごっこやキャッチボールもいいし、縄跳びやピクニックでも楽しいでしょう。子どもたちはお父さん、お母さんと一緒に遊びたいのではないのでしょうか。もちろん、休日に遠出して子どもが楽しむイベントへ参加することもできますが、お金を掛けずに体を動かすことも大切でし、子どもの印象にも残るものです。近所の公園や運動場などで、親子のふれあいはできます。この季節にぜひ外遊びを一緒にするといいでしょう。意外に子どもの身体能力が向上していて、びっくりするかもしれません。

また、こんなふれあいの積み重ねが将来に向かってのしっかりとした信頼関係を育てるでしょう。子どもたちの育つ過程は、全部がバラ色とは限りません。子どもが困ったとき、身近にいて素直に相談できる親でありたいと誰もが思います。しかし、「困ったときは相談して」と言葉で何回言っても、子どもはなかなか本音を言わないでしょう。それまでに信頼される親であるためには、楽しいことや苦しいことを共感することがとても大切だと思うのです。一緒に遊ぶことは、信頼を積み重ねていく大切な作業だと考えましょう。

この作業は期間が限られており、幼稚園児から小学生くらいで、とても短いのです。この期間を逃さぬように気をつけることが、賢明だと私は思っています。

## ピンクの紙が……

うれしい悲鳴ですが、給食が終わって自由遊びのときにたくさん子どもたちが園長室に「ピンクの紙をください」とやってきます。最近は少し落ち着いてきて60~80人くらいでしょうか、紙をもらうだけではなく、ソファでくつろいだり、図鑑をみたり、思い思いに過ごしています。

もう3~4年前ですが、このピンク色の紙は印刷会社からいただいたものでした。はっきりと覚えていないのですが、30しめ以上はあったのです。園長室の隅に高く積み上げられた紙の山は永遠にあるように感じました。しかし、シーズンを問わず子どもたちはやって来て、ついに今最後の1しめを開けてしまいました。たぶん3月の卒園式までには、完全になくなるでしょう。

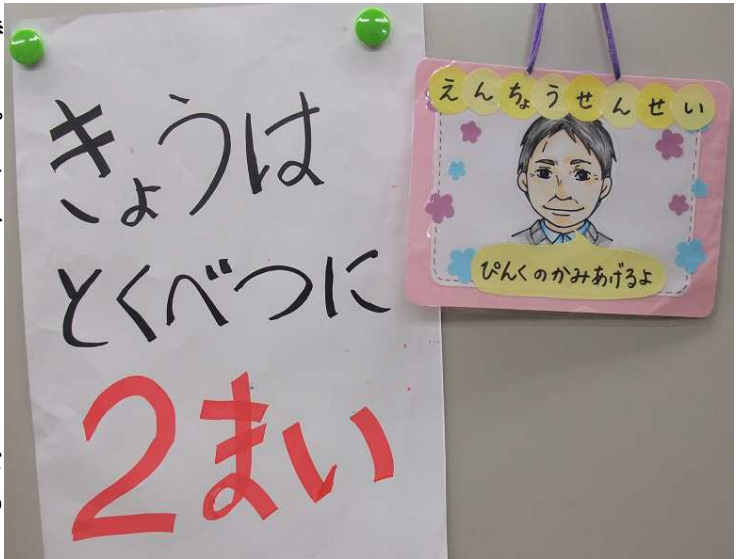
A4くらいの紙を半分に切って子どもたちに手渡します。子どもたちの様子をよく見ると、だんだん折り方が上手になっています。自分で折ることが苦手な子は、先生へ頼み込んでいるようで、交渉術が上達しているようです。

金曜日は手渡す時間がないため、木曜日の配布は2枚にしました。2枚の日は、どうも楽しみらしく「今日は2枚の日？」とよく聞かれます。「今日は水曜日やから、明日やね」

こんなことをよく話していると、だんだん曜日を理解する子も増えてきました。

正直に話すと、紙がなくなりホッとした気持ちもあります。でも、子どもたちとのつながりも、なくなるとさびしい気持ちになるし、複雑な心境です。

子どもたちに手渡せるときは、「ピンクの紙あげるよ」というカードを出しています。ときどき、そのカードをしまい込んだあと、子どもがさめざめと泣いて「ほしかったのに」と訴えることもあります。そこで「もう少し早く来ないと」と言いながら渡していました。しかし、本当になくなると渡す紙はないのです。そのことをみんなにお知らせしておきたかったのです。



## ボヘミアン・ラブソティ

映画「ボヘミアン・ラブソティ」を見に行きました。一度は見たのですが、映画が終わりに近づき、再度見たくなり映画館へ行きました。クイーン誕生からその最後までをヒット曲をからめてわかるように作られています。ロックのグループとしては、演奏やフレディ・マーキュリーの歌唱などすごいと思います。昔はコンピュータで音を作ることなどできなかったのではないのでしょうか。だから演奏力がよくわかります。そして、ドラムの上に小銭をまいたり、スピーカーをブランコのように左右に振ったりと録音の工夫も面白く描いてありました。2回目はあまり気乗りはしなかったのですが、1回目で見落としたことがあり、「そういうことか」と思うことがたくさんありました。映画で流れている全曲がどれも歌詞に大切な意味があり、心情をよく反映していることもわかりました。特にエンドロールで流れる“The Show Must Go On”は病に倒れたフレディーが最後の力を振り絞って歌ったと言われています。ギターがむせび泣いているようでぐっときてしまいました。

ちなみにもう一曲選ぶなら“Radio Ga Ga”です。軽快な曲調とラジオがいろいろな夢を与えてくれたという明るい感じもいいなと思いました。

この曲がヒットした頃、ステファニーという女性歌手がアメリカでデビューしました。彼女は“Radio Ga Ga”がとても好きで、よく聞いていたといいます。あるとき“Radio Ga Ga”と打った文書が修正機能で“Lady Ga Ga”とされた。それをとても気に入り自分の名に変更したそうです。ここにレディー・ガガが誕生したのでした。

実は40年前、クイーンは山口市で公演をしています。今の情報芸術センターの隣、スターバックスコーヒーのあたりに旧山口県立体育館がありました。1979.5.2にライブ演奏を行っています。大きな都市ではなく、なぜ山口で？と思うのですが、そのとき福岡の次に予定している会場が使用できなくなり、急に県立体育館に白羽の矢が立ったらしいです。

「せっかく山口であったのに」と少し残念な気持ちになりました。